

WHO テドロス事務局長に辞任要求 中国への忖度でパンデミックを引き起こしたと

いまここに解任要求が起こってきても何ら不思議なことではない。世界は新型コロナウイルス (COVID-19) のパンデミックに陥り、まったく先が見えない状況である。国内の感染者を完全に抑え込んだとする中国国内の状況も外部からは見えず、全く不透明な状況下にある。武漢封じ込め時にも事務局長は武漢を視察することなく中国の封じ込め政策を称賛した。そのツケが世界にいま重く影を落としている。

テドロス事務局長の人となりや経歴は次のサイトに示されている。

テドロス・アダノム (Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%86%E3%83%89%E3%83%AD%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%82%A2%E3%83%80%E3%83%8E%E3%83%A0>

WHO テドロス事務局長の経歴やプロフィール！ 中国との関係についても調査

<https://mini-memo.com/tedrosadhanom-prof/>

また、テドロス事務局長と中国の関係、そしてその関係に基づく事務局長の発言や行動は、次の YouTube に良くまとめられている。必見である。

“中国寄り”って本当？…実はこんな「事実」も 世界から WHO トップ辞任要求 どう考える？ 2020/02/14 次ページはこの YouTube からの情報です。

<https://www.youtube.com/watch?v=1oMjtzRrwIU>

新型コロナウイルスによる肺炎で、中国政府の対応を一貫して「評価」している WHO = 世界保健機関。しかし世界からは、疑問の声が。

そこには、世界が注目する、WHOと中国の意外な「関係」があった。

神戸新聞 2020.3.27



WHO事務局長 50万人が辞任要求

ネット署名、初期対応を批判

【ニューヨーク共同】新型コロナウイルスの脅威を過小評価し、世界的な感染拡大を招いたとして、世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長の写真を掲載し、辞任を求める声がインターネット上で高まっている。署名サイトでは25日までに、賛同者が50万人を超えた。

このサイトは「Change.org」(チェンジ・ドット・オルグ)。「カナダ在住の発起人」は、1月23日に「時期尚早」だとして緊急事態宣言を見送るなどとしたWHOの初期対応を問題視。新型コロナウイルスの感染が世界規模で広がった責任の一端がテドロス氏にあると非難した。さらにテドロス氏が「客観的な調査を行わず、中国政府からの感染者数の報告をうのみにしている」と批判。WHOは政治的に中立な立場を保つことができていないとし、テドロス氏は即座に辞任すべきだと訴えている。

トランプ米大統領も25日の記者会見で、WHOは「非常に中国寄りだ」と批判。長年にわたる中国側に「とても偏っている」として多くの人々が「不公平だ」と感じていると指摘した。

「私はきょう新型コロナウイルス肺炎について緊急事態を宣言しません。中国では緊急事態だが、世界的には緊急事態ではない」1月23日、急遽開かれた委員会で「時期尚早だ」と「緊急事態」宣言を見送った、WHOトップのテドロス事務局長。

1月29日の会見でも「中国を視察中、あらゆるレベルでの中国政府の関与のレベルに非常に感銘を受けました。政府から武漢と湖北省に多大な支援が注がれ、非常に組織化された緊急管理を備えています」と、中国政府の対応を絶賛。

しかしこの時すでに中国では、死者132人、感染者がおよそ6,000人に。

一旦は宣言を見送ってから1週間たった30日、ようやく「緊急事態」だと認めた。

しかしその会見では、こんなことも…。

「国際的な旅行と貿易を必ずしも妨げる措置の理由はありません。したがって、WHOは貿易と移動を制限することを推奨していません」。一方で当事者の中国政府は、この時すでに国民に対して海外への団体旅行を禁止していた。

いわば中国以上に”寛容な姿勢”を示した、WHO。

実は以前から、中国との意外な関係が…。

「中国が、非常に決定的な行動をし、予防策を取り、発生を封じ込め、制御したことを称賛します。そしてもちろん、これは世界の意見です」こう発言する女性は、香港のマーガレット・チャン氏。

2007年から10年にわたって、WHOの事務局長を務めた。2月2日、新型肺炎が大流行しているさなか、地元テレビで中国政府の対応を賞賛した。

実は、WHOトップの事務局長となった背景には、中国政府の推薦が…。

在任中には、WHOにオブザーバー参加している台湾を「中国台湾省」と呼ぶよう内部に通達したことが報じられている。

そしてもう一人、彭麗媛（ほうれいえん）氏。あの習近平国家主席の夫人＝ファースト・レディだ。

チャン氏が在任中の2011年に、「WHO結核・エイズ対策」の親善大使に任命された。

そして現在、事務局長を務めるテドロス氏。

エチオピア出身の医師で、2007年には保健大臣、2012年からは外務大臣を務めた。

そのエチオピアは、国家予算の1.75倍に当たる2兆6,600億円の投資を、これまでに中国から受けている。

また1月、新型肺炎の視察でテドロス氏が中国を訪れた際には、習近平国家主席と会談。

国連の一機関のトップとの会談に習主席が応じるのは、極めて異例だ。

そのテドロス氏率いるWHOに、いま、世界から疑問の声が。

「WHOは中国を褒めるように中国政府から依頼や圧力を受けているのか」と記者に問われたテドロス氏は、「ほとんどすべての加盟国が中国を褒めている。それが私が中国を褒める理由だ。中国はウイルスに対し、非常に効果的な行動をとっている。それは認められなければならない」と反論した。

ここからは、Web 上で確認できる記事を時系列を追って現在から過去にさかのぼっていった。特に註釈は加えないが、記事を追いかけて行くと、今回のパンデミックに至るまでの状況が見えてくる。

3月26日

WHO テドロス事務局長は「即座に辞任すべき」。52万筆のオンライン署名が世界中から集まる

https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5e7c1b42c5b6cb08a927cad9

3月26日

WHO、五輪パラ延期を「全面的に支持」 テドロス氏

<https://www.asahi.com/articles/ASN3V2VXJN3VUHBI00B.html>

3月24日

WHO・テドロス事務局長「パンデミックが加速」

<https://snjpn.net/archives/186919>



3月21日

WHO テドロス事務局長が若者に警告「あなたたちは無敵でない」

<https://www.iza.ne.jp/kiji/life/news/200321/lif20032110050009-n1.html>

3月17日

WHO 事務局長「検査徹底を」 新型コロナ感染食い止め

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56873950X10C20A3000000/>

「この1週間で感染が急速に広がった」と危機感を示し、中国以外の感染者数が中国を上回ったことを明らかにした。テドロス氏は「疑わしいすべてのケースを検査すること。それがWHOのメッセージだ」と強調した。

3月17日

WHO テドロス同志、検査連発し隔離を徹底要求。お前が隔離だ。

<https://www.bookservice.jp/2020/03/17/post-42188/>

いまさら何を言ってるんだ。はっきり言って世界の失敗は、初動で発生国中国と、テドロス始めWHOの中国の犬を隔離しなかったのが一番の失敗だ。

3月16日

「テドロス氏を守ろう！」と中国紙、エチオピア外相時代に1兆円融資と明かす

<https://www.epochtimes.jp/p/2020/03/53150.html>

世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は、中共肺炎（武漢肺炎とも呼ぶ）COVID-19の情報隠ぺいを行う中国当局を露骨に擁護しているとして、欧米メディアから批判を受けている。中国政府系メディアはこのほど、同事務局長への支持を訴える評論記事を掲載した一方で、同氏が本国エチオピアの外相を務めた頃、中国側が同国に1兆円以上の融資を行ったと明かした。

同紙は、中国当局が3月9日、WHOに対して2000万ドル（約21億円）を寄付すると決定したことや、「2015年以降、中国のWHOへの拠出金が50%以上増えた」と強調した。

また、2005～16年まで、テドロス氏がエチオピアの保健相や外相を在任中、同国は「中国から130億ドル（約1兆3873億円）以上の融資を受けた」と言及した。

1月に入ってから、中国では中共肺炎の感染者が急増し、武漢市政府が同月23日に都市封鎖措置を実施したにもかかわらず、WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を複数回実施を見送った。1月30日になって初めて、同宣言に踏み切った。しかし、テドロス事務局長は同日、スイスのジュネーブでの記者会見で、「不必要な人やモノの移動を制限する理由はない」とし、感染地への渡航や貿易を制限する勧告を行わないと述べた。

しかし、中国当局からの寄付を受けた直後の3月11日、テドロス事務局長は「新型コロナウイルスはパンデミックと言え」との認識を示した。さらに、同氏は13日、感染者が急増している欧州などについて「今やヨーロッパが、ウイルスが世界的に大流行するパンデミックの震源地となった」と述べ、震源地が中国ではないという中国側の主張に合わせた。

在米中国経済学者の何清漣氏はこのほど、豪メディア「SBS」中国語電子版に寄稿し、テドロス氏は2016年、中国当局の強い支持を受け、WHO事務局長に選ばれたと指摘した。同氏が翌年の2017年に中国を訪問した際、中国当局はWHOに2000万ドル（約21億円）の寄付金を提供したという。

何清漣氏は「パンデミックを宣言したテドロス氏は、中国が機嫌を損ねるのを恐れ、人々の怒りの矛先が中国当局に向かわないように、今も当局の感染防止対策を称賛し続けている」とした。

同氏は、テドロス氏が中国当局に媚びることで、「多くの国では感染防止対策が遅れ、世界的なまん延を招いた」と強く非難した。

3月14日

WHO・テドロス事務局長、安倍首相を異例の称賛

<https://www.zakzak.co.jp/soc/news/200314/for2003140003-n1.html>

3月14日

「欧州はパンデミックの震源地」WHOテドロス事務局長 新型コロナに危機感示す

<https://www.sankei.com/world/news/200314/wor2003140004-n1.html>

3月13日

「制御可能なパンデミック」 WHOテドロス事務局長

<https://www.sankei.com/world/news/200313/wor2003130023-n1.html>

スイス・ジュネーブで各国政府向けに開催された新型コロナウイルスの会合で発言した

3月12日

WHO がやっとした「パンデミック宣言」に「中国から OK が出たんだろ」の声 なぜ宣言が遅れたのか？

<https://news.yahoo.co.jp/byline/iizukamakiko/20200312-00167314/>

3月9日

WHO と中国の裏に何が？ 不自然な中国「配慮」に、各所から疑問の声 新型肺炎

<https://newsphere.jp/national/20200309-1/>

中国を絶賛、WHO 事務局長として適切？

3月3日

日本含む4カ国を憂慮 WHO 事務局長

https://www.fnn.jp/posts/00433156CX/202003031249_CX_CX

テドロス事務局長は、「韓国、イタリア、イラン、日本での感染拡大を最も憂慮している」と述べた。

2月22日

新型肺炎 「中国はきちんと抑制している」 WHO のテドロス事務局長

<https://www.afpbb.com/articles/-/3269354>

新型コロナウイルスによる肺炎が発生して以来、中国は直ちに強力な措置を講じた。このため、中国は WHO や多くの国から高い評価を受けた。

「中国は記録的な速度でウイルスを分離し、DNA シークエンシングを進めるとともに、直ちに WHO とも共有した。これは他の国々がウイルス検査ツールを開発するのに役立った。もしも検査ルールがなければ、感染症例が軽視され、感染が拡大したかもしれない」



テドロス氏は「WHO 執行委員会第 146 回会議で、ほとんどすべてのメンバーが中国を

称賛した。武漢 (Wuhan) のような都市で大規模な措置を講じると、経済分野を含め代価を払うことになる。ある英国の代表は、『われわれは中国の措置を称賛する、これは英雄的な振る舞いで、これによってわれわれは、より安全になった』と述べた」と語った。

テドロス氏は、一部の国を公然と称賛するには二つの目的があると強調した。一つはそうした国が引き続き正しい措置を堅持するよう励ますこと、もう一つは他の国がこれを参考とし、やり方を学習するようにさせることだ。「中国は称賛を要求する必要はない。過去にもなかったし、現在もない」とテドロス氏。

2月17日

欧州 10 カ国の国会議員 105 名、WHO テドロス事務局長に是正求める書簡

<https://jp.taiwantoday.tw/news.php?unit=148,149,150,151,152&post=171561>

欧州 10 カ国の親台湾派グループに参加する国会議員や超党派議員 105 名が最近、世界保健機関 (WHO) のテドロス・アダノム事務局長宛てに連名あるいは個別に書簡を送り、WHO が新型コロナウイルスに関する報告で台湾を中国に含めていることが、イタリア政府による台湾への直行便一時停止など誤った判断を招いているとして抗議し、是正を求めている。これらの国会議員らは同時に、今年度の WHO 総会への台湾招待を速やかに決定するよう求めている。

2月13日

新型コロナウイルス対応で遅れか、批判浴びる WHO

世界保健機関は中国の圧力に屈したのか

<https://jp.wsj.com/articles/SB11367435475918324839204586200120960964538>

1月31日

新型肺炎：習主席とテドロス WHO 事務局長の責任を問う！

<http://agora-web.jp/archives/2044076.html>

本稿は国内の対応に対する批判はマスコミに任せて、中国紙（「環球時報」や「新華社」の英語版）と WHO サイトの記事などから、新型肺炎への習主席と WHO 事務局長の対応について批判を加えてみたい。それらを一読すれば、日本時間のけさ発令された緊急事態宣言なぞ“目くらまし”にすら思えてこよう。

2017年5月23日

世界保健機関 (WHO) 次期事務局長に Dr. テドロス・アダノム・ゲブレイエスス 元エチオピア保健相・外務相を指名

<https://www.malarianomore.jp/archives/10439>